

第三回関東地区自然保護交流会報告

会期 平成26年10月18日(土)～19日(日) (1泊2日)

場所 那須郡那須町立那須小学校体育館 (宿泊：旅館ニューおおたか)

主管 栃木県山岳連盟 自然保護委員会

参加 38名 (栃木15、群馬2、埼玉10、千葉1、東京7、神奈川2、長野1)

「自然を尊び、愛し親しもう」をタイトルに連日快晴のもと那須高原鑄て自然保護交流会を開催した。委員長石倉より参加協力に感謝し、また1月に行われる広島での全国委員総会やイベントの参加もお願いしますと挨拶があり、続いて栃木岳連渡部副会長の挨拶があり、御嶽火山噴火にふれ茶臼岳周辺の現況対策や関東ブロックの交流が活性化されますようにと述べた。

その後、講演に移り大高登氏(遭難対策救助隊長)による「那須の今昔」、石川・齋藤両氏(昔語りの会)による「那須地方の語り部・殺生石・九尾の狐方言入りでの説話」、蓮賞淳夫氏(大田原俳句会同人会長)による「俳句で辿るとちぎの山』と題して日光・那須の山々の句紹介と解説が行われた。

明けて19日、朝8時に大高旅館を出発し、南月山コース・三本槍コース・ロープウェイコース・平成の森コースに分かれて那須を巡り、夫々に錦秋が迫る自然を堪能した。大高旅館へ帰着時には、芋煮鍋が振る舞われ、眼下の那須高原風景を眺めながら地元味に舌鼓を打ちつつ、交流会を楽しく締めくくった。「行きは良い々々、帰りは渋滞」となりましたが、皆様お疲れ様でした。



那須小学校体育館にて



宿舎のニューおおたかにて